

問題 1

東京工業製作所（本社東京都）は群馬県前橋市に工場を有しており，本社工場独立会計システムを採用している。本年10月1日における前橋工場の残高試算表は＜資料＞のとおりであるとして，①～⑧の取引について，工場において行われる仕訳を示しなさい。ただし，勘定科目は工場で使用している科目（残高試算表に示された科目）に限る。なお，材料の購入と製品の販売は本社が行うが，本社工場間での内部利益は付加していない。

＜資料＞

残高試算表（前橋工場）		（単位：千円）	
材 料	3,000,000	給 料	200,000
仕 掛 品	10,000,000	本 社	17,800,000
製造間接費	0		
製 品	5,000,000		
	<u>18,000,000</u>		<u>18,000,000</u>

- ① 材料 30,000,000 千円を購入した。購入した材料は工場で検品のうえ受け入れた。
- ② 材料 30,000,000 千円を払い出した。すべて直接材料である。
- ③ 工場従業員へ給料 30,000,000 千円を支給したが，9,000,000 千円は預り金として，本社で 21,000,000 千円の小切手を振り出した。
- ④ 工場で，直接労務費 20,000,000 千円，間接労務費 10,000,000 千円を計上した。
- ⑤ 製造間接費を，直接労務費の 150%の基準で製品に配賦した。
- ⑥ 本社で機械等設備の減価償却費を 12,000,000 千円計上し，その旨を工場に通知した。
- ⑦ 製品 90,000,000 千円が完成した。
- ⑧ 製品 90,000,000 千円を庫出し，売価で 100,000,000 千円を得意先へ発送した。

問題 2

当社の東京工場では2つの工程を経て製品Bを連続的に生産している。

本年10月中の＜資料＞に基づき、①～④の金額を計算しなさい。

＜資料＞

- 第1工程では直接材料のすべてを作業の始点で投入している。第2工程では第1工程完了品をすべて受け入れて加工し、工程の終点で加工完了品の50%に相当する減損が生じているが、これは正常な状態を原因として発生している。
- 両工程とも、月末の仕掛品原価の計算は平均法による。仕掛品の加工費進捗度はいずれも50%とする。
- 生産データ

	第1工程	第2工程
月初仕掛品	100 kg	100 kg
当月投入	800 kg	700 kg
計	900 kg	800 kg
月末仕掛品	200 kg	100 kg
減 損	0 kg	? kg
工程完了品	700 kg	? kg

- 原価データ（単位：千円）

	第1工程		第2工程	
	直接材料費	加工費	前工程費	加工費
月初仕掛品	11,200	9,600	24,400	10,400
当月投入	93,200	80,000	各自計算	64,600
計	104,400	89,600	184,000	75,000

- 第1工程における月末仕掛品 200kg の製造原価は（各自計算）千円であり、その内訳となる直接材料費は（ ① ）千円、加工費は（ ② ）千円となる。
- 第2工程における第2工程完了品（各自計算）kg の製造原価は（各自計算）千円であり、その内訳となる前工程費は（ ③ ）千円、加工費は（ ④ ）千円となる。

問題3

駿河台産業では、XYZの3種類の製品を生産・販売している。当年度の各製品の実績は<資料>のとおりである。次年度の業績予想は、当年度と同様であるとされている。以下の2つの問に答えなさい。共通固定費は、売上高基準で各製品に配賦している。

問1

製品Zは赤字であると計算された。この製品の生産・販売を中止すべきか否か、その理由と共に答えなさい。製品Zの生産を中止しても、それに代わる代替製品はないものとする。

問2

製品Yは、営業努力により売上高を900,000円まで伸ばすことが可能である。但し、売上高が800,000円を超えた場合、個別固定費が50,000円追加発生する。共通固定費については変化しない。この場合、製品Yの生産・販売を伸ばすべきか否か、その理由と共に答えなさい。

<資料>

製品別損益計算書

	<u>製品X</u>	<u>製品Y</u>	<u>製品Z</u>
売上高	600,000円	800,000円	400,000円
変動売上原価	<u>300,000</u>	<u>480,000</u>	<u>260,000</u>
限界利益	300,000	320,000	140,000
固定費			
個別固定費	120,000	150,000	80,000
共通固定費	<u>120,000</u>	<u>160,000</u>	<u>80,000</u>
営業利益	<u><u>60,000円</u></u>	<u><u>10,000円</u></u>	<u><u>△20,000円</u></u>

問題 4

以下の問題について解答しなさい。

- ① 管理会計の体系として意思決定会計と業績管理会計の領域がある。その技法を2つずつあげて説明し、意思決定会計と業績管理会計を区別する理由、それぞれの機能、役割の相違点について論じなさい。
- ② 原価企画の概念には、狭義説と広義説があるが、それぞれの概念の特徴について比較・検討しなさい。

問題5

次の用語について説明しなさい。

- ① 付加価値率
- ② 戦略マップ
- ③ 収益性指数法